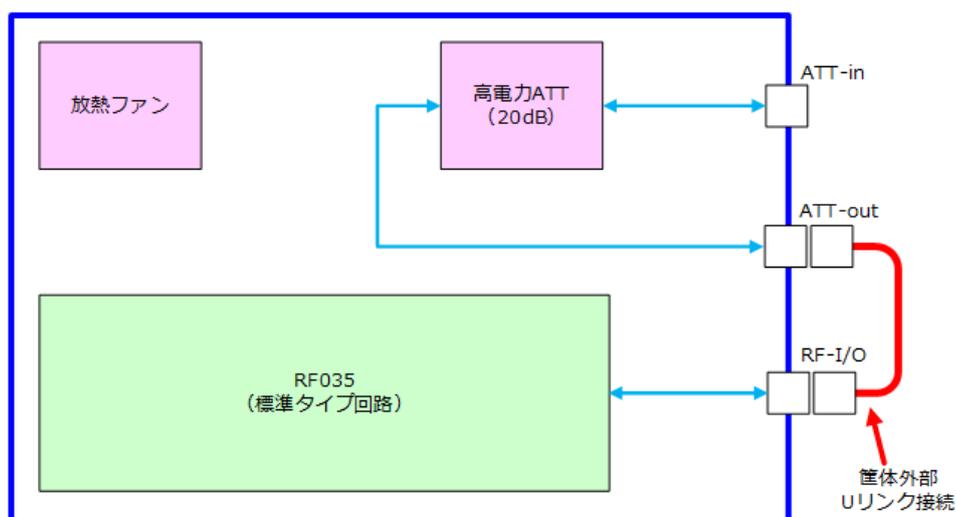


RF035 高電力入力オプション 簡易説明

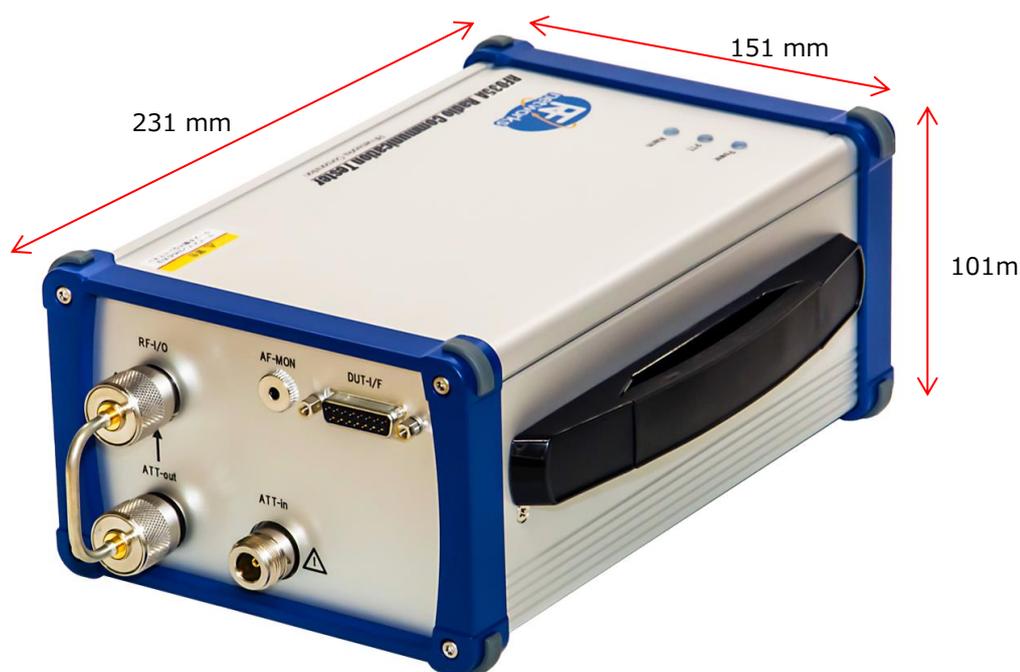
高電力入力オプション

高電力入力オプションを実装した RF035 では、筐体内部に高電力 ATT を実装し、高電力モードで最大 30W の RF 入力電力での測定が可能になります。また、筐体外部の U リンクを外して「RF-I/O」と無線機を接続すれば標準タイプの RF035 として使用することができます。

RF035 高電力オプション実装 ブロック図



外観寸法図



標準タイプとの違い

高電力入力オプションを実装した RF035 では標準タイプと比較し以下の違いがあります。

- ・ 高電力 ATT、放熱ファンが実装され筐体サイズ・重量が大きくなります。

高電力モード（ATT-in からの入出力を行った場合）

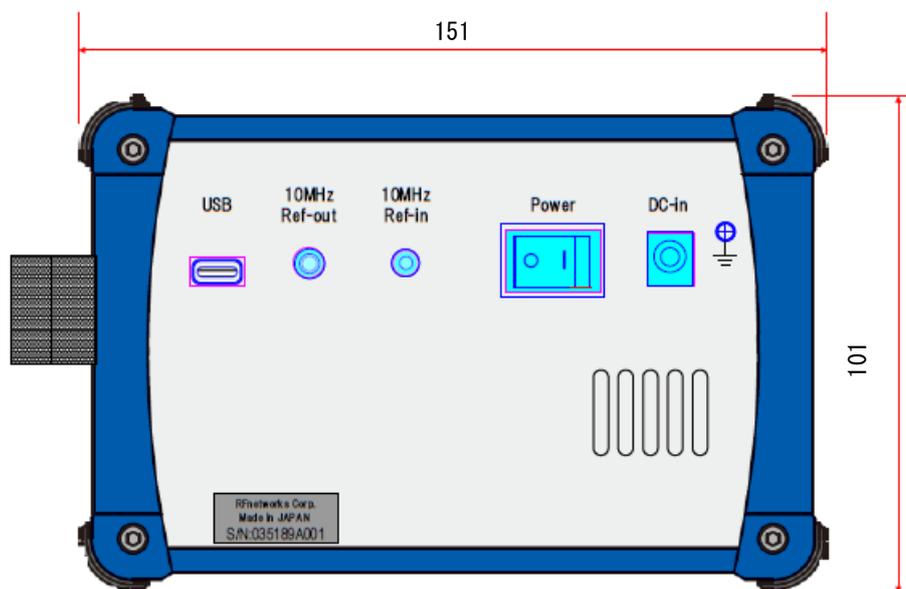
- ・ TX、SPA 試験の入力上限 30W までで、下限が 20dB アップ、また表示雑音レベルが 20dB アップします。
- ・ RX 試験の RF 信号発生器出力の下限はそのまま、上限が 20dB ダウンします。
- ・ RX Emission の測定を行うことはできますが、-54dBm の判定はできません。U リンクを外して標準タイプでの測定を行ってください。

以下に主な違いを記載しておきます。

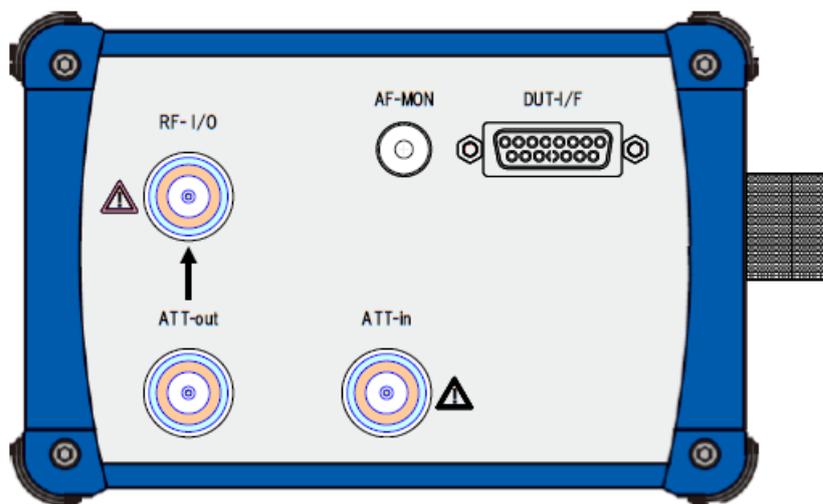
項目	仕様	
	RF035 標準タイプ	高入力オプション実装時
パワーメータ/測定レベル	1mW~10W	100mW~30W
入力レベル範囲 #1	1mW~10W	100mW~30W
アナログ・デジタル RF 信号発生器/出力レベル	範囲:-133~-33 dBm	範囲:-133~-53 dBm
FFT アナライザ 入力レベル範囲	20mW~10W	2W~30W
スペクトラムアナライザ 測定キャリア レベル測定 表示雑音レベル 残留スプリアス	20mW~10W -54~+40dBm -54~-30dBm (RX Emission 時) -64dBm typ. -60dBm 以下	2W~30W -34~+44.8dBm -34~-10dBm (RX Emission 時) -44dBm typ. -40dBm 以下
外形寸法 保護ラバー部の外寸 コネクタ等突起物含まず	約 231(W)*151(D)*61(H)mm	約 231(W)*151(D)*101(H)mm
質量	約 1.1k g	約 2.2k g

#1 : RF カウンタ、アナログ変調解析器、デジタル変調解析器等の TX 試験 RF 入力レベル

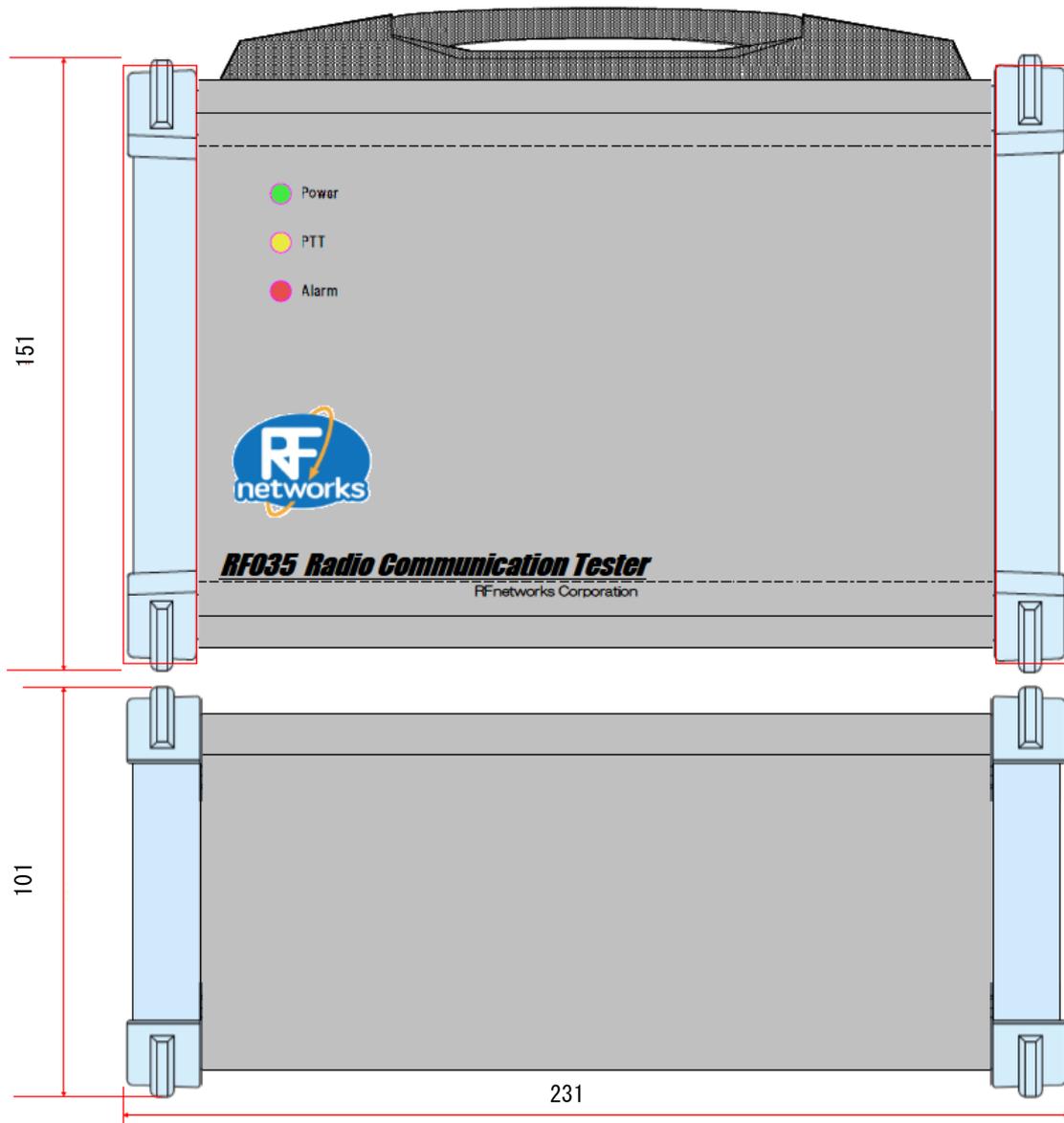
図面



背面パネル



正面パネル



側面パネル